

ミニバスにおける24秒ルールにおけるショットクロックの継続とリセットについて

栃木県ミニバスケットボール連盟／U12審判部

ミニバスではフロントコート概念はなく、14秒リセットはボールがリングに触れた後、それまでボールをコントロールしたとき（オフェンスリバウンド）のみの採用となる。

NO	状況	オフェンス継続 (オフェンス側コントロール)	ディフェンス側に ボールが与えられる とき (ディフェンス 側コントロール)
1	ボールがアウトオブバウンズになったとき	継続	24秒リセット
2	ジャンプボールシチュエーションになったとき	継続	24秒リセット
3	ディフェンスのファウルやバイオレーション	24秒リセット	24秒リセット
4	オフェンスのファウルやバイオレーション		24秒リセット
5	ダブルファウルが宣せられたとき	継続	
6	オフェンス側に原因がありゲームが中断する (テクニカルファウル含む)	継続	
7	ディフェンス側に原因がありゲームが中断する (テクニカルファウル含む)	24秒リセット	
8	どちらのチームにも関係のない理由でゲームが中断する	24秒リセット	
9	アンスポーツマンライクファウル等でセンターラインからスローインが与えられるとき	24秒リセット	24秒リセット
14秒リセットが生じる状況 ショット (フリースローも含む) 後、ボールがリングに触れた後			
10	リバウンドボールをコントロールしたとき	14秒リセット	24秒リセット
11	フリースローのボールがリングに触れた後、リバウンドボールをコントロールしたとき	14秒リセット	24秒リセット
12	リバウンドボールをどちらのチームもコントロールする前にアウトオブバウンズになったとき	14秒リセット	24秒リセット
13	リバウンドボールをどちらのチームもコントロールする前にジャンプボールシチュエーションになったとき	14秒リセット	24秒リセット
14	リバウンド中またはリバウンド後にファウルが宣せられたとき	24秒リセット	24秒リセット

N03のディフェンスのバイオレーションが起きたがディフェンス側にボールが与えられるときとは

例：ゴールテンディング、インタフェアレンスにおいて、ディフェンス（チームB）のプレーヤーがバイオレーションをした場合、オフェンスのチーム（チームA）に以下の得点が与えられる：フリースローの場合は、1点。フィールドゴールエリアからボールが放たれた場合は、2点。得点は、そのボールがバスケットに入った場合と同様に取り扱われるので、ディフェンス側（チームB）のエンドラインからのスローイン（24秒リセット）で再開される。